とよみ生協病院建設ニュース

2022年10月17日(月)
発行責任者：玉城　全一郎
第８号

新　とよみ生協病院でのリハビリ室の展望

とよみ生協病院
リハビリ室　具志　毅也

リハビリ室では専門医師を中心に、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のチームでこれまで以上に充実したリハビリ室を目指します。理学療法では機能面の改善、基本動作能力の向上、作業療法では自宅での生活動作の獲得、言語聴覚士は食事や認知機能面の訓練を担当し、より専門性を高めたリハビリの提供を行っていきます。

新病院の7階には、（入院・外来）リハビリ室とリハビリテラスを配置予定であり、リハビリテラスでは歩行訓練以外にも、ベンチでくつろぎお話しをしたり、景色を楽しんだり、園芸活動やレクレーション等を行う予定で、患者様の趣味や楽しみ等生活の質の向上も目指しています。

また、4～6階に配置予定の3病棟にもリハビリ室を置き、患者様が安心した自宅生活が送れるように多職種で支援していきます。

今後もリハビリ室は患者様・利用者の満足度の向上を目指し、専門性を活かした質の高いリハビリテーションを展開していきます。

2022 年 10 月 6 日：小禄３支部合同で新病院建設の説明会を開催いたしました。
説明会での主な Q&A を紹介いたします。

Q1 ベッドも増床し外来も開始するとのことですが、職員の確保は出来ているのですか？

A 沖縄医療生協では、奨学生制度があり毎年医師、看護師、薬剤師等の職員が入職してきています。しかし、それだけでは職員の確保は難しいのが現状です。そのため、今後を見据え、生協本部に職員採用を専門とする職員を配置し対策を行っています。そのような状況ですので、地域組合員の皆様のお力もお貸しください。

Q2 患者に寄り添う接遇教育をもっと行った方が良いのでは？

A　ご指摘の通りです。当院でも接遇教育を随時取り組んでおりますが、さらなる質の向上をめざし法人全体でも改善につなげていきます。

Q3 救急受診の際の判断はどのようにしたら良いのですか？

A　判断は難しいと思います。発熱等の症状等で自己にて病院受診が可能な方は当院の救急外来でも対応可能です。救急車での来院については、救急隊員に症状を説明して判断を委ねてください。

Q4 喫茶室はありますか？

A　喫茶室・食堂はありませんが、売店近くに飲食が可能なラウンジとテラスがあります。

Q5 交通の便が悪いので対応策を検討してほしい

A　行政等の要請や、自院での送迎等も検討していきます。

Q6 組合員が集う場所は確保されていますか？

A　新病院内では計画にありません。現在、生協本部と調整中です。

基礎工事の地盤改良と水平探査を行っています
2022.10.17 現在

定例会議の内容
現在月１回のペースで発注者、設計監理、施工者（建設・電気・機械含む）と定例会を開催しています。
左記の項目に沿って会議を進めています。
・前回議事録の確認
・工事進捗状況・工程の確認
・近隣関係・安全管理状況
・指示・連絡事項
・全体の調整事項
といった内容です。
新病院建設で設計監理や施工者に聞きたいことや提案等があれば、新病院建設準備室までお寄せください。
新病院建設準備室（渡嘉敷・嘉数）
（０９０―６８５７―５５１１）